

# 自己評価報告書 学校関係者評価報告書

(令和4年度)

愛知産業大学三河高等学校  
通信制課程 単位制

## 目 次

<b>I 学校概要</b> .....	1
<b>II 教育目標</b>	
(1) 学校法人 愛知産業大学建学の精神 .....	2
(2) 愛知産業大学三河高等学校通信制課程(単位制)の教育目標 .....	2
(3) 愛知産業大学三河高等学校通信制課程(単位制)の教育指導方針 .....	2
<b>III 重点目標の達成及び改善方策</b>	
(1) 学習指導 .....	3
(2) 生活指導 .....	4
(3) 進路指導 .....	5
(4) 生徒相談 .....	6
(5) 生徒募集 .....	7
(6) 総 務 .....	8
(7) 校 務 .....	9
(8) 事 務 .....	10
<b>IV 本年度の具体的な取り組み</b> .....	11
<b>V 来年度の具体的な取り組み予定</b> .....	11
<b>VI 今後の方向性</b> .....	11
	12
<b>生徒アンケート 集計結果</b> .....	14
	16
<b>保護者アンケート 集計結果</b> .....	17
	19

## I 学校の概要

### (1) 学校名

愛知産業大学三河高等学校

### (2) 課程

通信制課程

### (3) 所在地

〒444-3523

愛知県岡崎市藤川町西川向1-20

TEL : 0564-48-5230      FAX : 0564-48-8775

ホームページ : <https://asu-mikawa-tani.jp>

### (4) 沿革

昭和58年 三河高等学校の創立が認可され、校舎を岡崎市字原山12番地の10に置く。

昭和58年 三河高等学校を開設。全日制課程の普通科と電気科を置く。

昭和60年 三河高等学校の全日制課程に情報処理科と通信制課程を設置する。

平成3年 愛知産業大学の設置が認可され、校舎を岡崎市字原山12番地の5に置く。

平成7年 三河高等学校の校名を愛知産業大学三河高等学校に改称する。

平成10年 愛知産業大学三河高等学校に単位制（普通科）を設置する。

平成16年 愛知産業大学三河高等学校の単位制新校舎が完成。

### (5) 通信制課程の構成

学年制の生徒が在籍する技能連携校（専門学校高等課程）と本校独自の単位制で構成されている。

学年制は普通科であり技能連携を結ぶことによって、専門学校の単位を本校の単位として認定、年回3回のスクーリングを本校で行い高等学校卒業資格を与えることができる。

本校単位制普通科には、2つのコース（午前コース・午後コース）を設けている。また、午後コースは少人数制授業（10人前後）を行っている。通学型通信制で大学生のように自分で選んだ授業を受講し、3年間で74単位取得することで通信制の卒業資格を得ることができる。

### (6) 技能連携校

名古屋情報専門学校 高等課程

あいちビジネス専門学校 高等課程

西尾高等家政専門学校 高等課程

名古屋調理師専門学校

専修学校東洋調理技術学院  
 豊橋情報ビジネス専門学校  
 大岡学園ファッション文化専門学校  
 あいち情報専門学校 高等課程

(7) 技能連携校の学科構成

名古屋情報専門学校 高等課程	普通科
あいちビジネス専門学校 高等課程	普通科
西尾高等家政専門学校 高等課程	普通科
名古屋調理師専門学校	普通科
専修学校東洋調理技術学院	普通科
豊橋情報ビジネス専門学校	普通科
大岡学園ファッション文化専門学校	普通科
あいち情報専門学校 高等課程	普通科

(8) 生徒数及び教職員数（令和4年5月1日現在）

	単位制普通科		連携校普通科		計
	男子	女子	男子	女子	
1年生	24	22	447	121	614
2年生	36	40	410	136	622
3年生	77	58	392	115	642
計	137	120	1249	372	1878

教職員数13名(兼務含む) 校長(兼務) 教頭 教員6名 兼任教員5名  
 精神保健福祉士1名(兼任) 事務職員2名

## II 教育目標

(1) 学校法人 愛知産業大学建学の精神

豊かな知性と誠実な心を持ち 社会に貢献できる人材を育成する

(2) 愛知産業大学三河高等学校通信制課程（単位制）の教育目標

本校通信制課程単位制は、転学希望生徒や高校中退生徒の再チャレンジの場として、また不登校気味中高生の成長の場として、高校卒業資格の取得を第一目標に指導している。また、卒業後の進路指導についても力を入れている。

(3) 愛知産業大学三河高等学校通信制課程（単位制）の教育指導方針

単位制の生徒は、中学校時に不登校であった生徒、他の高等学校からの転入学生、学び直しを希望する編入学生で構成されており、個性豊かでいろいろな問題を抱えているが、その目標は「高等学校卒業」である。その希望に応えるため、家庭との連絡を密にして意欲と自覚を促し、単位取得と退学防止をはかる。また、わかりやすい学習指導、進路指導、悩み相談を行い、将来のために次のステージへつなげる。

# スクールポリシー

愛知産業大学三河高校通信制

## 1. 育成を目指す資質・能力に関する方針

「豊かな知性と誠実な心を持ち、社会に貢献できる人材を育成する」ことを教育方針とし、転学生徒や高校中退生徒の「再チャレンジの場」として、また不登校気味中高生の「成長の場」として、高校卒業資格の取得を第一目標に指導しています。また、卒業後の進路指導についても力を入れています。

## 2. 教育課程の編成及び実施に関する方針

○登校型の通信制高校として取り組んでいます。(狭域性＝県内居住の人に限りませ)

- ・登校 週2日を原則としています。
- ・授業 対面授業を実施しています。各授業ごとにレポートを提出してもらいます。
- ・時間割 大学生のように決まった時間割表の中から自分で選べます。  
(教員のサポートあり)
- ・コース 2コースの設定(午前コース、午後コース)  
午後コースは不登校や人間関係の苦手な生徒のコースで、「少人数授業(15人前後)」を実施しています。
- ・修得単位数 3年間で74単位取得することで通信制の卒業資格を得ることができます。

## 3. 入学者の受け入れに関する方針

不登校や人間関係で悩む生徒が増加しつつある近年において、少しでも再チャレンジの場を与えることを念頭に受け入れ態勢を整えています。

- ・高校生(転学、編入学)  
在学中に不登校・成績不良での原級留置・その他の理由で転学を希望する者や、一旦退学した生徒で高校卒業の資格を求める者を受け入れています。
  - ・中学生(入学)  
不登校や体調不良などで希望する全日制高校への進学ができない生徒を受け入れています。
  - ・社会人(入学)  
一般の社会人でも高卒資格の必要な人、また「生涯学習」の一環として高卒資格のない年長者の受け入れもしています。
- 少しでも前向きに取り組もうとする意欲があれば受け入れています。
- 「通信制高校は自由である」とのイメージから生活面に問題のある生徒が集まる傾向にありますが、本校ではお断りしています。

### Ⅲ 重点目標の達成及び改善方策

#### ①評価方法

各重点項目に対して、1点から3点で評価する。

良い …… 3点	普通 …… 2点	悪い …… 1点
どちらでもない …… 評価しない		

#### ②評価対象者

本校通信制専任教職員 8名

#### (1)学習指導

平均 2.8 (昨年度2.9)

重点目標	教員評価	
	R4	R3
① 各科目の単位修得率を向上させる努力をする。	3.0	3.0
② 生徒の基礎学力向上に努める。	2.7	2.6
③ 試験による不正行為をなくす。	3.0	3.0
④ 欠課オーバーによる科目不認定者を減少させる。	2.8	2.6
⑤ 「よくわかる授業」の実践に心掛ける。	3.0	2.9
⑥ 授業中のマナー指導の徹底(携帯電話・スマートフォンの使用禁止、居眠り)	2.8	2.9
⑦ 授業の視聴覚教材を作成する。	3.0	2.8
⑧ 技能連携校スクーリングの新教材の作成と確認を行う。	2.5	2.4
⑨ 技能連携校におけるスクーリングを効果的に行う。	2.5	2.5
⑩ 総合学習(体験学習)を効果的に行っている。	2.8	2.9

#### (考察)

平均評価としては昨年度より1ポイント下がっている。しかし、⑤「よくわかる授業」の実践に心掛ける。⑦授業の視聴覚教材を作成する。の2項目で全教員の評価が向上しており、それぞれが創意工夫して授業研鑽に励んでいることが伺える。少しでも学力を向上させたいとの各教員の取り組みの表れであると思う。例年のことであるが、本校には学力に対する劣等感や自信のない生徒が多いため、今後も各教員が同一歩調の意識で取り組んでいきたいと思う。

連携校のスクーリングについては年間3日間の実施であるが、今年度はほぼ計画通りに実施することができた。その一方で教材の見直しや周辺機器の整備が十分でなかったことが反省点である。今後は生徒たちが少しでも満足するような時には映像授業に加えて「対面授業」の実施も検討している。少しでも有意義なスクーリングでありたい。

#### 【課題】

- ・前籍校や中学時不登校などの状況からどうしても学力差が生じてしまう。
- ・簡単な理由で欠席する生徒に不合格者が多い。
- ・技能連携校のスクーリングでは現地校の機材の状況により対応に差異が出る。
- ・教員側のマンネリ感(意識)が一部で感じられる。

【改善方策】

- ・引き続き各教員が授業研鑽に励みながら内容のある授業を展開する。
- ・特別講座(学び直し、進学、高大連携、公務員など)などを有効に活用する。
- ・資格・検定など、単位とは別の機会を検討し意欲を高めたい。(継続的に計画)
- ・技能連携校スクーリングでは教材の充実と周辺機器の新規購入をすすめる。
- ・教員のマンネリ感を防ぐため教員相互の授業見学などを導入する。

(2)生活指導

平均 2.5 (昨年度2.5)

重点目標	教員評価	
	R4	R3
① 登下校時のマナーはしっかりしている。	2.8	2.2
② 校内外の巡視を行い、喫煙防止を図る。	2.5	2.5
③ 車両等による通学者は許可を得てマナーを守り通学している。	2.2	2.5
④ 公共交通機関利用時のマナーとモラルの意識向上を図る。	2.2	2.2
⑤ 交通安全に対する意識を持つように指導している。	2.5	2.2
⑥ 生徒自身に、登校日を正確に把握させ、確実に登校させる。	2.7	2.4
⑦ 健康診断通知配付と共に、治療が必要な生徒に対して治療勧告を配付する。	3.0	3.0

(考察)

生徒の登下校の実態はなかなか明確に把握できないが、1号線での登下校指導で問題の未然防止となっており、以前と比べてマナー違反は減少している。ただ、駅周辺での行動までは把握できないのが現状である。生徒間の表面的なトラブルはなく、授業中のスマホ使用やよそ事などは見られなくなった。常に全生徒の状況を確認しながら対応している。健康診断後の治療勧告報告書の提出は、例年通りほぼ全生徒ができています。

【課題】

- ・友人の運転する車で送迎してもらう生徒が一部で見られる。
- ・喫煙行為(駅周辺、1号線)がまだまだみられる。
- ・全日制の生徒や大学生とのトラブルも懸念される。
- ・公共交通機関利用者が多く、キセルなど問題行動も懸念される。

【改善方策】

- ・1号線での登下校指導や巡視で可能な範囲で問題行動を未然に防ぐ。
- ・全日制や大学との連絡を密にしてトラブル防止に努める。
- ・違反生徒(喫煙など)には保護者来校をお願いして指導する。(その間授業は欠席扱い)
- ・規程の見直しをすすめ、特に自動車やバイクでの通学は成人に限るように変更する。

## (3)進路指導

平均 2.4 (昨年度2.7)

重点目標	教員評価	
	R4	R3
① 進学率を高める努力をしている。	2.2	2.5
② 学校斡旋就職希望生徒の内定率の向上。	2.3	2.7
③ フリーター・ニート等による進路未決定者の減少を目指す。	2.5	2.7
④ 担任が自クラスの進路を把握する。	3.0	2.7
⑤ 愛産大等姉妹校への進学を推奨し、増加を目指す。	2.0	2.5
⑥ 生徒が、能力・適性に合った進路を見つけられる為の面接指導を行う。	2.8	3.0
⑦ 就職説明会、姉妹校説明会への出席を指導する。	2.0	2.8

## (考察)

各先生方の全体評価の平均値は昨年より下がったが、進学・就職それぞれの担当者による丁寧な指導が実践されていることに変わりはない。ただ、コロナの影響を最も受けた学年だけに、精神的に問題のある生徒が例年より多く、教員からの進路アドバイスに対しても自信が持てないことで曖昧な進路を考える生徒がいたことが悔やまれる。特に姉妹校である愛産大への進学者が3名(前年比-5)しか出なかったのは反省すべき点でもある。

その一方で進学ではこれまでにない実績を出すことができた。国立大学では京都大学、信州大学、有名私学では同志社大学、立命館大学、県内では南山大学、名城大学、中京大学などに合格者を出すことができ、「愛産大三河高校通信制でも十分大学進学が可能」との評価がいただける契機となれば幸いである。大きな要因は何と言っても進学校からの転学であり、心の病で転学した生徒に少しでも自信を持たせ「再スタート」「再チャレンジ」させる通信制高校を目指したい。

しかし例年同様にいい加減な気持ちで進路を考える生徒もいるので、特に学校推薦で進学・就職する際には「誓約書」を提出させて意識を持たせている。

## 【課題】

- ・コロナの関係でここ3年間進路ガイダンスが実施できていない。
- ・奨学金の活用者は増加傾向にあるが、中には対応しくない生徒も利用している。
- ・就職内定者に辞退者が出ってしまった。(保護者・本人と共に謝罪に訪問した)
- ・同様に自分の適性を考慮しないまま就職するとすぐに退職してしまう場合もある。
- ・基本的に様々な理由(特に精神面)での転入学生が多く進路指導は難しい面がある。

## 【改善方策】

- ・姉妹校への進学については、総合探究の時間や講座、それぞれが実施するイベントを有効活用して可能な範囲で斡旋したい。
- ・進路ガイダンスを実施し有効に活用したい
- ・3年生は進路調査の結果を有効に活用する。
- ・オープンキャンパスや企業見学に積極的に参加させる。
- ・校外模試などを有効に活用する。



## (4) 生徒相談

平均 2.8 (昨年度2.9)

重点目標	教員評価	
	R4	R3
① 不登校生徒のカウンセリングを促す。	2.8	2.8
② 欠席過多の生徒や不登校気味の生徒への家庭連絡を適切に行う。(家庭との連絡を密にする)	3.0	3.0
③ カウンセリングを実施して、登校率を向上させる。	2.5	2.7
④ 全日制スクールカウンセラーとの連携をとり実施している。	2.8	3.0

## (考察)

- ・学校の特性上不登校生徒や精神的に問題のある生徒の受け入れは宿命である。  
特に現在校生はコロナの影響を多大に受けた学年だけに不安定な生徒が例年になく多かった。学校としては少しでも心の不安を安定化させ、高校卒業のみならず進学や就職に向けて気持ちを切り替えることで社会のニーズに対応するべく取り組んでいる。
- ・専門のカウンセラーによるカウンセリング(金曜日午前)は常に予約がある状況である。
- ・一部では複雑な事情のある家庭もあり、保護者との連絡も取りにくい場合もある。当然ながら家庭内の問題にまで立ち入ることは厳禁であり、個人情報の観点からも学校としての対応には限界があるのも事実である。

## 【課題】

- ・クラス制を設けてはいるがHR活動がないことで、多くの生徒との関わりは授業だけとなってしまっているのが現状である。
- ・専門のカウンセリングが週1日(午前)だけなので受診者が限られる。
- ・保護者との連携方法は電話や学校メールなどで対応しているが、双方ともに連絡の取れないケースもある。そのような場合は内容証明の郵送も利用することがある。
- ・近年午後コースの生徒が増加傾向にあり、募集方法を再検討する必要がある。
- ・特にコロナの関係で神経質(不安定)になる生徒が増え、今回は自殺願望を持つ生徒も存在した。保護者との連携で最悪の事態は避けられた。
- ・女子生徒の扱いは男性教員では限界がある。

## 【改善方策】

- ・生徒とのコミュニケーションは各教員に委ねられているが、くれぐれも誤解を招く発言は厳に慎みたい。
- ・夏休み中の個人面談(保護者懇談会)週間などを積極的に活用し生徒・保護者との関係を構築する。
- ・カウンセリングを少なくとももう一日増やすか、終日対応にしたい。
- ・学校外(行政・保護施設)などとの連携も必要である。
- ・女子生徒増加に伴い女子教員の配置が不可欠である。

## (5)生徒募集

平均 2.6 (昨年度2.9)

重点目標	教員評価	
	R4	R3
① 年間目標入学者数を確保する努力をしている。	2.7	2.9
② 入学相談者に対する入学率を向上させる。	2.8	2.9
③ 学校説明会を計画的・効果的に実施する。	2.7	2.9
④ 学校説明会参加人数が昨年を上回るよう努力する。	2.3	2.8
⑤ 退学者数を少なくする努力をしている。	2.8	2.9
⑥ 在籍数の多い高校を訪問して、現況報告する。	2.7	2.9
⑦ 業者による合同説明会に参加して、入学者数増に努める。	2.3	2.8

## (考察)

- ・年間入学者数について、定員(120名)は確保できたが、前年を23名下回る結果となった。数字的には大きな減少であるが、以前のような誰でも受け入れる方針からの転換を図っていることを考慮すれば定員数を確保できている結果は満足としたい。当然ながらこれまでのイメージを持っている高校や中学校の認識を変えるにはまだまだ時間がかかることもあり、今後数年は入学者数の減少も念頭において対応したい。その間に様々な取り組みや他校との差別化を図りながら少しでも本校のイメージを変える努力を続けたい。その継続が必ずや入学者増加に繋がるものと確信する。誰でも受け入れた時代から「真面目に学ぶ生徒」に絞った通信制高校を目指したい。公立高校が制度変更で本格的に通信教育に取り組むことへの対応も考慮したい。中学校からの入学は多少の増減はあるものの、三河地区の中学校に徐々に認識されつつある。特に本校の午後コースは不登校生への選択肢の一つになりつつある。

## 【課題】

- ・入学相談、学校説明会の内容がやや形骸化している。
- ・広域性の通信制高校の宣伝力が大きく、そちらに流れるケースが少ない。
- ・高校の中には以前のイメージを持つ先生が存在し安易な転学を勧めることがある。
- ・生徒数増加に伴う対応が遅れている。(教員数、施設、その他)

## 【改善方策】

- ・訪問(高校、中学校)の再検討  
特に高校訪問については郵送での対応も検討したい。(工業高校はすべて郵送)  
中学校訪問は一層丁寧を実施したい。(各地区の担当者決めなど)
- ・説明会(校外)の有効活用  
校内6回、校外(豊橋、岡崎、安城、刈谷)の説明会をさらに有効活用したい。
- ・ホームページのあり方  
学校生活や特に進学実績などは頻繁にアップしていきたい。
- ・入学生確保に向けた校舎、教室、講座数、教員数の検討をする。

## (6)総務

平均 2.5 (昨年度2.5)

重点目標	教員評価	
	R4	R3
① ホームページの更新は時宜を得て行う。	2.7	2.0
② ホームページの資料請求・学校説明会の申し込みを増加させる。	2.5	2.5
③ 学校の情報を「メール発信システム」で適切に提供する。	2.3	2.7
④ 学校説明会の案内を効果的に配付する。	2.5	2.7

## (考察)

- ・ホームページの更新は各先生方の取り組みで改善されつつあるため、今後も常に念頭に置きながら「情報発信」の観点から取り組みたい。その一方で全日制の高校と比べ行事が極端に少ないため更新が困難な面もある。
- ・資料請求や説明会参加に関しては有効に活用されている。
- ・保護者、生徒への連絡ツールとしての活用が十分でない面がある
- ・より効率的な活用が求められている。

## 【課題】

- ・全教員が意識を変えてホームページの活用を心掛けることが求められる。
- ・募集活動での効率的な運用がなかなかできていないのが現状である。
- ・「メール登録」は以前よりは増えているが保護者の協力が得られない場合がある。
- ・「メール発信」を個別にできると効率的である。

## 【改善方策】

- ・担当者任せではなく、職員個々がホームページの有効活用を考える。
- ・ホームページを通しての問い合わせや募集に関する質問には早急に対応する。
- ・メール登録については、生徒だけでなく保護者にも可能な範囲で義務付けたい。
- ・高校や中学校向けの発信も検討していきたい。

## (7)校務

平均 2.8 (昨年度2.6)

重点目標	教員評価	
	R4	R3
① 校外における美化活動を行っている。	2.5	2.7
② 環境整備に気を配り、ゴミを減少させる。	2.7	2.7
③ 省エネを推進し、エネルギー委員会の目標値「前年度比で1%」 となるように努力し、意識の高揚を図る。	2.8	2.7
④ 日直を中心とした校内整備を行う。	3.0	2.3
⑤ 各階担当者・教室管理者による教室整備と校内美化に努める。	3.0	2.7

## (考察)

- ・校舎周辺は年々成長する樹木に囲まれており、数年前には学園敷地内の樹木が住宅屋根にかかっているとのことで伐採を依頼された。大木ではあったが事務職員と本校教員の作業で無事に処理できた。また数年後には同様の依頼があることが予想される。  
このように近隣住民宅と接している環境から校内外の整備は日々欠かせない状況である。
- ・駅からの通学(特に国道沿歩道)周辺でのゴミの散乱が頻繁にみられたが、定期的な巡視などで減少しつつある。
- ・9月に生徒机・椅子の新規購入、そして各教室にホワイトボードが設置され、校内の雰囲気が一新された。その後落書きなども見られず、学習環境の大切さを痛感している。  
同時に教職員の机・椅子も新規購入となり、職場の環境が改善された。
- ・引き続き「省エネ」に対する意識を高める必要がある。
- ・敷地内に3本の桜を植樹した。少しでも学校らしくなれば幸いである。

## 【課題】

- ・周囲の樹木を可能な範囲で伐採・処分しているが、どうしても「害虫」や「害獣」の懸念は払しょくできない。令和4年度は度重なる野猿の出没に苦慮した。
- ・平成16年に建築された校舎も築20年に近づいているが、環境的に周囲が樹木で囲まれていることもあり屋上や外壁の老朽化が著しい。
- ・省エネを意識する雰囲気はあまり感じられない気がする。(管理職の責任もあるが。)
- ・相変わらず規範意識に欠ける生徒が一部存在し、登下校時のポイ捨てがある。

## 【改善方策】

- ・全日制や大学を含んだ俯瞰的な見地から学校全体の環境整備を進める。
- ・周辺住民からのご意見や要望などについては真摯に対応する。
- ・1号線での指導を通して生徒の登下校の状況を観察し予防措置をとる。
- ・修理可能なものは自ら修理するなど、経費節減に努める。
- ・教室管理教員に教室環境の整備について実践させる。
- ・教室環境の整備を常に意識して職務にあたりたい。

## (8)事務関係

平均 3.0 (昨年度2.8)

重点目標	教員評価	
	R4	R3
① 業務の効率化を図り、残業ゼロを目指す。	3.0	2.7
② 職員室の基幹データと共有し、データの一元管理を目指す。	3.0	2.8
③ 電話等の対応を適切に行う。	3.0	3.0
④ 入学相談等、入学に関わる事務を適切に行う。	3.0	3.0
⑤ 就学支援金事務作業を円滑に行う。	3.0	2.7

## (考察)

- ・「働き方改革」が定着されつつあることもあり、今年度はすべての項目が改善され満点となった。各職員が前年度以上に仕事の効率化を念頭に実践した結果であろう。  
限られた時間内に業務を遂行するのはこれまで以上に困難ではあるが、これが原因でミスがあっては意味がない。正確な業務遂行が一層求められる。
- ・デジタル化が年々充実しつつあり、アナログ的な業務が減ってきたのは幸いである。  
ただ、全日制と比べて大幅に遅れており、専門の先生によって徐々に構築されつつある。
- ・そんな中で8校ある技能連携校の中には長年独自のシステムで整備されていることで、理解と協力が困難な学校もある。(根気よく対応している)
- ・事務職員2名(1名は派遣)で、単位制生徒約300名分と連携校生徒約1600名分の管理をしている状況が続いており、教員が補助する場合もある。
- ・業務の効率化(単純ミスの防止)のためにもさらなる整備が急務の状態である。

## 【課題】

- ・デジタル化は急務ではあるが各教職員の研鑽も必要である(格差が激しい)。
- ・毎年決まった時期になると業務が重なり勤務時間がオーバーすることがある。
- ・一部子供に無関心な保護者がおり、特に経費納入の件で苦慮する場合がある。
- ・派遣事務員の勤務時間が慢性的に超過している。(好意的残業ではあるが。)

## 【改善方策】

- ・全日制の情報専門の先生にデジタル化の整備をお願いしているが、時間が足らず長時間の対応を願いたい。
- ・事務の業務は専門性が強いので、事務職員の増員(専任2名+派遣1名)が望ましい。
- ・できれば事務処理を本校単位制分と技能連携校分とに分業したい。
- ・引き続き現在進行中のデジタル化を早急に完成させる。(全日制と同様にしたい)
- ・できれば電話回線を1つ増やしてほしい。

#### IV 本年度(令和4年度)の具体的な取り組み

- ・連携校スクーリング実施について・・・9月の平日に実施(土曜出勤超過の防止策)
- ・体験学習講座新設・・・新講座導入(理学・作業療法:電波学園との協力)
- ・進学のための奨学金制度説明会の実施・・・4月23日実施
- ・校舎外美化活動の充実(樹木の伐採等)・・・そのための機材購入
- ・視聴覚機器の充実(プロジェクター等)
- ・学校ホームページ(リニューアル完了)の有効活用
- ・学校説明会、外部説明会、学校訪問(高校・中学校)への積極的参加

#### V 来年度(令和5年度)の具体的な取り組み予定

- ・体験学習講座新設・・・新講座導入(ゲーム、ものづくり:電波学園や企業様との協力)
- ・進学のための奨学金制度説明会の実施・・・4月22日実施
- ・校舎外美化活動の充実(樹木の伐採等)・・・購入機材の有効活用
- ・視聴覚機器の充実(校内 Wi-Fi 設備の検討、ICT 教育の準備)
- ・学校ホームページの有効活用
- ・学校説明会、外部説明会、学校訪問(高校・中学校)への積極的参加
- ・2階教室(パーテーション設置)の有効活用・・・少人数講座、など
- ・国際コミュニケーションコースの、公務員講座の開講・・・姉妹校との連携
- ・技能連携の増設の取り組み

#### VI 今後の方向性

##### 本校通信制課程単位制

生徒数減少傾向の一方で、コロナの影響などによる不登校生徒数がここ数年増加傾向にあり、生徒の進路先・高校卒業資格取得の観点から今まで以上に通信制高校の存在が注目されている。法律改正による規制緩和で株式会社が学校を設立できるようになったことから、広域制の通信制高校が増加しており、年々生徒募集活動が激しさを増している。豊橋・岡崎・安城・刈谷各市で毎年説明会が開催されるが、その際には様々な通信制高校が特色ある演出で生徒確保に取り組んでいる。その演出に影響を受ける保護者・生徒が少なくない状況で、中には「楽しさ」や「楽に卒業できる」などをアピールする学校もあり、冷静な視点での進路選択が望ましい時代となっている。

乱立する通信制高校に中であって本校は「1条校」であることと、愛産大三河高校というブランド力を行使して今後も生徒確保に取り組みたいと思う。地味ではあるが他校とは違う「面倒見のよさ」を基本に、年齢を超えた幅広い年代層も受け入れる生涯学習の場としても存在をアピールしたい。  
長期的な目標(継続目標)

- ・就職に直結する講座の新設(主に資格取得)
  - 〈例〉英会話・留学講座 電気工事士資格取得講座 情報処理資格取得講座
  - 危険物取扱資格取得講座 公務員試験合格講座など
- ・新コースの設置
  - 〈例〉進学コース、日曜コースなど
- ・進路指導室の新設 ・校外社会研修 ・部活動、サークルの開講

### 技能連携校(8校)

令和3年度から8校となり在籍者数も増加した。いずれも技能連携を結び毎年3回のスクーリングを行い本校の卒業を認めている。多くの通信制高校が乱立する中で本校と技能連携を締結していただいていることは本当にありがたいことである。従ってその対応には懇切丁寧な対応が求められる。事務関係は勿論、スクーリング授業に関してもその内容を常に見直して少しでも有意義な授業を展開したいと切に思う。

「愛知県内に設置されている専修学校高等課程」の生徒に対する授業料軽減補助制度により経費的に本校は比較的優遇されており、今後補助内容の変更や新たな制度の導入などが予想される。それらの情報を一早く入手すると同時に、本校としての対応を検討したいと思う。

今後技能連携校が増えれば学園にとっても増収益となるため、基本的には前向きに受け止めたいが、その場合に備えて様々な体制(施設・教員数)も整えておくことが肝要である。

以上

# アンケート調査



## 令和4年度生徒アンケート

## 評価欄

A:よくあてはまる B:やや当てはまる C:あまり当てはまらない D:まったくあてはまらない E:わからない

適当であると思われるところに○をつけてください。

評価観点		A	B	C	D	E
教育方針 学校経営	1	教育方針に沿った指導をしている。				
	2	落ち着いた学校生活を送っている。				
	3	生徒の可能性を伸ばすそうとしている。				
	4	施設・設備に満足している。				
家庭との連絡	5	連絡文書等は確実に届けている。				
	6	情報は絆ネット、電話等で発信している。				
教職員	7	教員に対して親しみやすさを感じている。				
	8	教員は悩みや相談事に優しく対応してくれる。				
	9	事務職員は親切に対応している。				
学習指導	10	理解しやすい授業に努めている。				
	11	熱心な授業をしている。				
	12	落ち着いた雰囲気での授業を受けている。				
	13	総合的な学習(体験学習)の内容は充実している。				
	14	わからないところを丁寧に教えてくれている。				
生徒指導	15	社会のルールを守るように指導をしている。				
	16	いじめやトラブルがないように指導がしている。				
進路指導	17	役に立つ資料や情報が常備されている。				
	18	進路についての相談や説明を丁寧にしている。				
健康管理 安全指導	19	身体健康維持に対する指導をしている。				
	20	臨床心理士(全日制)がいるので安心感が持てる。				
	21	交通事故等の安全指導をしている。				
その他	22	地震や台風など時の適切な指示をしている。				
	23	校舎内の環境整備や美化に努めている。				

アンケートのご協力ありがとうございました。

## 令和4年度 生徒アンケート 集計結果

評価欄

A:よくあてはまる B:やや当てはまる C:あまり当てはまらない D:まったくあてはまらない E:わからない

評価観点		A	B	C	D	E	
教育方針	1	教育方針に沿った指導をしている。	64%	25%	4%	0%	7%
	2	落ち着いた学校生活を送っている。	80%	14%	6%	0%	0%
	3	生徒の可能性を伸ばすそうとしている。	58%	29%	7%	2%	4%
	4	施設・設備に満足している。	55%	42%	1%	2%	0%
学校経営	考察 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育方針についてはHPなどで公開しているがどの程度の理解か疑問ではある。</li> <li>・授業中のよそ事（スマホ、居眠り）はほとんど見られなくなった。</li> <li>・前向きに取り組む生徒については全力でサポートをしてあげたい。</li> <li>・施設、設備については毎年一定数の不満がある。 施設の老朽化に伴い、メンテナンスが必要になっている。 教室増設など今後は施設の充実が必要である。（継続的な課題である）</li> </ul>						
家庭との連絡	5	連絡文書等は確実に届けている。	71%	25%	2%	0%	2%
	6	情報は絆ネット、電話等で発信している。	74%	12%	8%	1%	5%
家庭との連絡	考察 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校からの連絡や情報は電話とメール、HPが基本である。</li> <li>・メール登録がまだまだ十分ではなく連絡の取れない生徒が一部にいる。</li> <li>・学校からの着信があった場合は必ず掛けなおすように指導している。（必須事項）</li> </ul>						
教職員	7	教員に対して親しみやすさを感じている。	61%	26%	9%	2%	2%
	8	悩みや相談事に優しく対応してくれる。	65%	18%	8%	1%	8%
	9	事務職員は親切に対応している。	80%	13%	4%	0%	3%
教職員	考察 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の中には教師に対して不信感や、学校そのものへの敵愾心を持つ場合があり 教員からのアプローチには注意が必要である。 教員に対して親しみやすさ感じない生徒がいることを念頭に置きたい。</li> <li>・9月の保護者懇談会（任意）に参加する保護者が増えてきた。</li> <li>・精神的な疾患を持つ生徒は保護者との連絡を密にしながら、全教員が情報を共有して対応している。（重大化を未然に防ぐ）</li> <li>・事務職員の対応については昨年度と同様の結果であったが、実際は少ない人員で 技能連携校の事務も扱っていることもあり事務職員の能力頼りとなっている。</li> </ul>						

評価観点		A	B	C	D	E	
学 習 指 導	10	理解しやすい授業に努めている。	65%	28%	4%	2%	0%
	11	熱心な授業をしている。	67%	28%	4%	1%	0%
	12	落ち着いた雰囲気授業を受けている。	73%	22%	3%	1%	1%
	13	総合的な探究の内容は充実している。	55%	16%	4%	0%	25%
	14	わからない所を丁寧に教えてくれている。	60%	32%	7%	1%	0%
	考察 <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度「理解しやすい授業」の評価が下がったことの反省から、各先生に対応していただき評価が回復した。</li> <li>・教える立場である以上常に授業研鑽に励まなければならない。</li> <li>・今後は視聴覚教材を有効活用して中身のある授業を展開したい。</li> <li>・午後コースの生徒を対象にICTを駆使した試みも検討したい。</li> </ul>						
生 徒 指 導	15	社会のルールを守るよう指導をしている。	64%	26%	2%	0%	8%
	16	トラブルがないように指導をしている。	58%	27%	2%	0%	13%
	考察 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1号線での登下校指導もあり、通学途中での喫煙はほとんど無くなった。</li> <li>・様々な生徒が入学してくるので、より一層注意深く見守ることが肝要である。</li> </ul>						
進 路 指 導	17	役に立つ資料や情報が常備されている。	53%	36%	2%	1%	8%
	18	進路の相談や説明を丁寧にしている。	54%	26%	5%	2%	13%
	考察 <ul style="list-style-type: none"> <li>・進学、就職ともに担当の教員により適切な指導がなされている。</li> <li>・数年ぶりに国立大学合役者が出た。(京都大学、信州大学)</li> </ul>						
健 康 管 理 安 全 指 導	19	身体健康維持に対する指導をしている。	44%	26%	14%	0%	16%
	20	臨床心理士がいるので安心感が持てる。	39%	22%	10%	1%	28%
	21	交通事故等の安全指導をしている。	47%	28%	9%	2%	14%
	考察 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーの希望者が多いためもう少し機会を増やしたい。</li> <li>・自動車、バイク通学は成人のみの許可制としたい。</li> </ul>						
そ の 他	22	地震や台風時の適切な指示をしている。	50%	25%	3%	1%	21%
	23	校舎内の環境整備や美化に努めている。	60%	22%	9%	0%	9%
	考察 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健体育の授業内に防災訓練のDVDを視聴させている。(避難訓練の代替策)</li> <li>・立地条件の関係で毎年野猿の出没があり、生徒に注意を促している。</li> <li>・敷地内外の美化活動は近隣住民の方々に迷惑をかけないように実施している。</li> </ul>						

## 令和4年度保護者アンケート

## 評価欄

A:よくあてはまる B:やや当てはまる C:あまり当てはまらない

D:まったくあてはまらない E:わからない

適当であると思われるところに○をつけてください。

評価観点			A	B	C	D	E
教育方針	1	学校の教育目標や教育方針に理解できる。					
	2	学校は特色ある教育活動を行っている。					
	3	学校は生徒の一人一人の個性を尊重している。					
家庭との連携	4	単位取得を含めたコースの特徴を充分説明している。					
	5	連絡文書等は確実に届けている。					
	6	情報は絆ネット、電話等で発信している。					
学習指導	7	教員に対して親しみやすさを感じている。					
	8	教員は悩みや相談事に優しく対応してくれる。					
	9	事務職員は親切に対応している。					
	10	教員は理解しやすい授業に努めている。					
生活指導	11	社会のルールを守るように指導が適切に行われている。					
	12	いじめやトラブルがないように指導がしている。					
進路指導	13	生徒個々に対して、適切な進路指導を行っている。					
	14	進学・就職説明会など適切に行われている。					
その他	15	総合的な学習(体験学習)の内容は充実している。					
	16	校舎内の環境整備や美化に努めている。					
	17	役に立つ資料や情報が常備されている。					
	18	施設・設備等の環境整備は充実している。					
	19	健康診断などの身体健康維持に対する指導をしている。					
	20	臨床心理士(全日制)がいるので安心感が持てる。					

アンケートのご協力ありがとうございました。

## 令和4年度 保護者アンケート 集計結果

### 評価欄

A:よくあてはまる B:やや当てはまる C:あまり当てはまらない D:まったくあてはまらない E:わからない

評価観点		A	B	C	D	E	
教育方針	1	学校の教育目標や教育方針に理解できる。	56%	42%	1%	0%	1%
	2	学校は特色ある教育活動を行っている。	52%	34%	3%	0%	11%
	3	学校は生徒の個々の個性を尊重している。	52%	40%	4%	0%	4%
考察		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全日制同様に進路に対する丁寧な対応を求める保護者が増えてきた。</li> <li>・広域制の通信制高校との差別化を図りニーズに応えたい。。</li> <li>・「再スタート」、「再チャレンジ」できる通信制高校でありたい。</li> </ul>					
家庭との連絡	4	単位取得を含めたコースの特徴を充分説明している。	62%	29%	5%	1%	3%
	5	連絡文書等は確実に届けている。	78%	21%	1%	0%	0%
	6	情報は絆ネット、電話等で発信している。	69%	27%	1%	0%	2%
考察		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「通信制高校」のシステムを理解できない保護者には毎年苦慮している。</li> <li>・学校の情報伝達は電話、メール、HPで対応しているがさらに充実したい。</li> <li>・保護者、生徒に絆ネットの登録はほぼ70%前後である。</li> </ul>					
学習指導	7	教員に対して親しみやすさを感じている。	59%	30%	2%	2%	7%
	8	悩みや相談事に優しく対応してくれる。	58%	27%	3%	3%	9%
	9	総合的な学習（体験学習）の内容は充実している。	54%	26%	3%	1%	16%
	10	教員は理解しやすい授業に努めている。	46%	36%	1%	2%	15%
考察		<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな理由で転入学して来る生徒にはアプローチの仕方が一様でなく、時として教員の声掛けに拒否反応を示し逆効果になることがあるので注意したい。</li> <li>・その一方で教員への親しみや相談対応についてはもう少し配慮する必要がある。やはり生徒への声掛けは大切である。</li> <li>・9月には保護者懇談会（任意）を実施しているが徐々に増加しつつある。やはり定期的に保護者と直接話す機会は大切である。</li> <li>・総合探究では年々新しい講座が開設されており進路学習の一環となっている。</li> <li>・他校との差別化を図るためにもマナビメントなど、学業以外の機会を増やしたい。</li> <li>・生徒間の学力は中学校レベルから進学校レベルまで格差があるため、授業内容や試験は中間程度のレベルを意識して展開している。（内容の精査は肝要）</li> </ul>					

評価観点		A	B	C	D	E	
生活指導	11	社会のルールを守るように指導が適切に行われている。	43%	33%	2%	0%	22%
	12	トラブルがないように指導がしている。	48%	26%	3%	0%	23%
考察		<ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識の欠ける生徒が一部に存在し登下校時のマナーが芳しくない。教員の登下校指導により徐々に改善されつつある。</li> <li>・登校が原則週2日であることから生徒の動向が掴めにくい状況ではあるが、常に生徒の行動はしっかり把握する必要がある。(そのためにも声掛けは大切である)</li> <li>・時にSNSに関するトラブルには厳重に注意を払う必要がある。</li> </ul>					
進路指導	13	生徒個々に対して、適切な進路指導を行っている。	47%	27%	5%	2%	19%
	14	進学・就職説明会など適切に行われている。	43%	29%	4%	1%	23%
考察		<ul style="list-style-type: none"> <li>・進学、就職の担当者と担任により適切な進路指導が実施されている。</li> <li>・就職内定者の辞退が発生してしまい猛省するところである。(厳重に注意したい)</li> <li>・国立大学(京都大学、信州大学)の合格者が出すことができた。</li> </ul>					
その他	15	事務職員は親切に対応している。	76%	16%	4%	0%	4%
	16	校舎内の環境整備や美化に努めている。	58%	33%	3%	0%	6%
	17	役に立つ資料や情報が常備されている。	44%	34%	4%	0%	18%
	18	施設・設備等の環境整備は充実している。	52%	35%	4%	0%	9%
	19	健康診断などの身体健康維持に対する指導をしている。	44%	36%	5%	0%	15%
	20	臨床心理士(全日制)がいるので安心感が持てる。	43%	24%	2%	2%	29%
考察		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務職員への対応の評価は昨年より高評価を得ている。特に様々な補助制度の説明は細心の注意を払いながら対応している。</li> <li>・近隣住民の方々に迷惑とならないよう周辺整備を行っているが、年々成長する樹木の伐採、整備はなかなか進まないのが現状である。</li> <li>・掲示板をフル活用して多くの情報を発信している。(デジタル化も急ぎたい)</li> <li>・校舎の老朽化で施設満足度が低い状況になってしまう。</li> <li>・スクールカウンセラーへの満足度は昨年より高評価を得ているが、相変わらず希望者が多く「毎週金曜日午前中に2名限定」が現状なので今後検討を要する。</li> </ul>					